

令和7年12月16日
沖縄行政評価事務所

男性用トイレへのサニタリーボックス設置 に関する情報収集結果

総務省沖縄行政評価事務所（所長 高田 賀夫）は、前立腺等のがん治療後の症状や加齢による尿漏れなどにより、日常的に尿漏れパッドや成人用おむつを使用する男性は増加傾向である一方、設置に関する制度や基準がなく、男性用トイレにサニタリーボックス（衛生用品を廃棄するための容器のこと。）が設置されていないため、外出を控えてしまうケースがあることや、総務省の行政相談でも設置に関する要望があったことなどから、沖縄県内の国の行政機関、地方公共団体及び関係団体から情報収集を行いました。

その結果、サニタリーボックスの未設置機関では、男性用トイレへの設置の必要性を認識していなかったとする機関が多数みられた一方で、日本トイレ協会及び日本オストミー協会沖縄県支部から、必要とする側の意見を聞いたところ、尿漏れパッド等を使っていることを知られたくないと思っているため、サニタリーボックス設置を求める声を挙げにくいなどの意見が聞かれました。

また、今回の情報収集結果を踏まえ、当事務所が設置の必要性等を説明したところ、その必要性を認識し、設置することとなった国の行政機関もみられました。

今後は、今回の情報収集結果について、様々な機会を捉えて、男性用トイレへのサニタリーボックス設置の普及につながるよう関係機関に働きかけていきます。

・ 情報収集結果

（連絡先）

総務省沖縄行政評価事務所

担当：筒井、岡元、伊藤、森田

電話：098-866-0145（代表）

E-mail：okn31@soumu.go.jp

情報収集の背景

- 前立腺等のがん治療後の症状や加齢による尿漏れなどにより、日常的に尿漏れパッドや成人用おむつを使用する男性は増加傾向
(沖縄県の状況)
 - ・尿漏れパッドや紙おむつを使うとされる前立腺がんの罹患者数 H 13…124人 ⇒ R 2…797人
 - ・前立腺がんは、平成29年以降、沖縄県内男性におけるがんの部位で第2位
- しかし、男性用トイレにサニタリーボックス（衛生用品を廃棄するための容器のこと。以下「SB」という。）が設置されていないため、尿漏れパッド等を持ち帰る必要があることから外出を控えてしまうケースなどがみられ、総務省の行政相談にも「男性用トイレへのSB設置を求める声」あり。
- 沖縄県内では、議会での質問をきっかけにSBを設置した地方公共団体や、公共施設等でのSB設置について書面による協力依頼やホームページ等で働きかけている地方公共団体がある。
- 一方で、男性用トイレへのSB設置に関する制度や基準が存在しないため、社会全体の理解や普及に課題あり。
⇒ 「施設管理者が求める情報」を関係機関に提供することでSB普及につなげられるよう情報収集を実施



情報収集結果

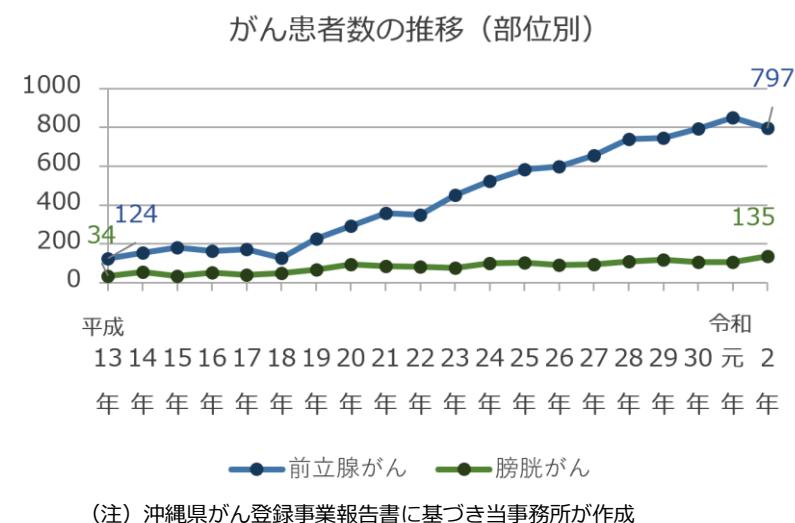
- 沖縄県内の国の行政機関や地方公共団体等のSB設置状況について、未設置機関から設置に当たっての懸念等を把握するとともに、設置機関では、懸念等にどのように対応しているかを把握。併せて、日本トイレ協会及び日本オストミー協会沖縄県支部から、SBを必要とする側の視点として意見や要望を聴取
- 未設置機関では、男性用トイレへのSB設置の必要性を認識していなかったとする機関が多数みられた一方で、SBを必要とする側では、尿漏れパッド等を使っていることを知られたくないという意識やないことを前提に持ち帰り用の袋を携行しているという意見が聞かれた。今後、日常的に尿漏れパッド等を使用する男性が増加する可能性を踏まえると、施設管理者側における認識・理解が必要
- 当事務所がSBの設置の必要性等を説明したところ、その必要性を認識し、設置することとなった国の行政機関もある。

当事務所の対応

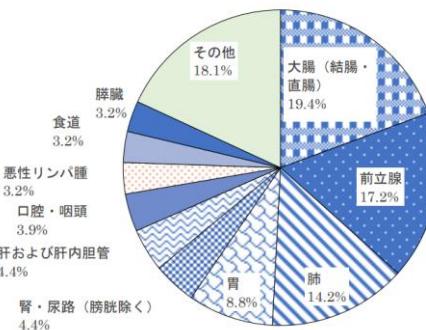
- がん患者や尿漏れなどのある高齢者等、日常的に尿漏れパッド等を使用する方々が安心して生活できる社会の実現を後押しし、男性用トイレへのSB普及につなげるため、様々な機会を捉えて、今回の情報収集結果について、関係機関に情報提供を実施予定

1. 情報収集の背景

- 前立腺がんや膀胱がんの治療後の症状や加齢による尿漏れなどによって、**尿漏れパッドや成人用おむつを使用する男性が増加傾向**にある。
- しかし、**多くの男性用トイレにはSBが設置されていないため**、尿漏れパッド等を捨てる場所がなく、持ち帰る必要があることから**外出を控えたりする**ケースなどがある。
- がんによる症状に関しては、政府が策定した「第4期がん対策推進基本計画」（令和5年3月28日閣議決定）の「がんとの共生」分野において、「がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す」とされている。
- 沖縄県男性の**前立腺がん及び膀胱がんの罹患者数の推移**をみると、前立腺がんは平成13年の124人から令和2年は797人に、膀胱がんは平成13年の34人から令和2年は135人に、**ともに増加**している。
- 特に**前立腺がん**は、平成29年以降、沖縄県男性におけるがんの部位で**第2位**を占める。（参考：右下図は令和2年のデータ）
- 男性用トイレへのSB設置については、**制度や基準が存在しないため、社会全体の理解や普及に課題**あり。



沖縄県男（罹患者数割合%）令和2年



（注）令和6年度沖縄県がん登録事業報告書から引用

https://www.pref.okinawa.jp/iryokenko/shippeikan_senso/1005229/1024870/1005231.html

「施設管理者が求める情報」を関係機関に提供することで
SB普及につなげられるよう情報収集を実施

2. 情報収集結果（設置に当たっての懸念点・気になること）

①SBを設置した経緯は?
必要性はあるの?

詳しくはp.4~

②トイレが狭く、SB設置
スペースがない。どこに設
置すれば効果的?

詳しくはp.5~

③サイズや機能など、
どのようなものをSBと
して設置すればよい?

詳しくはp.6~

④SBの設置に要する
費用ってどれくらい?

詳しくはp.7~

⑤SBの案内や使用方法の
掲示はしたほうがよい?

詳しくはp.8~



- ・ 国の行政機関（国）
- ・ 地方公共団体（地）
- ・ 商業施設（商）
- ・ 公益社団法人日本オストミー協会沖縄県支部（才協沖）
- ・ 一般社団法人日本トイレ協会（ト協）

から情報を収集

2. 情報収集結果 (①SBを設置した経緯は？必要性はあるの？)

懸念点・気になること

- ・SBを設置している機関はどういう経緯で設置に至ったのか。
- ・SB設置の需要はあるのか、トイレ利用者からの反響がないため需要・必要性が分かりにくい。

参考情報

◆ 設置の経緯

- ・トイレに異物を流されて配管が詰まったことがあったため、**予防**として設置した。 (国)
- ・**議会で意見**があり、費用の検討を経て、利便性の向上のため設置した。 (地)
- ・**男性用トイレへのSB設置を推進している地方公共団体のヒアリングを受けた**ことで、それまで意識していなかつたが、男性用トイレにもないよりはあった方がよいという話になり、設置した。 (商)



◆ 関係団体の意見・要望

- ・ストーマ装具の交換時に廃棄物（ストーマパウチ、ビニール手袋）が出る。装具は、排泄物やにおい・漏れの発生時、パウチの粘着性が落ちた時に交換が必要となる。**特に夏場は発汗が原因でパウチが剥がれるため、外出先で交換を余儀なくされるケースも多い。** (才協沖)
- ・装具の交換で多目的トイレも利用するが、**体感としては 8:2 でほぼ男性用トイレの個室を利用**している。**多目的トイレは利用中の場合が多く、また、我々は外から見れば一般の人と変わりないため、周囲からなぜ多目的トイレを使うのかというような視線を感じ、心理的にも利用しづらい。**このため、男性用トイレにSBが設置されていると非常にありがたい。 (才協沖)
- ・尿漏れパッド等を使っている男性の多くが**「尿漏れパッド等を使っている」ことを知られたくない**と思っていいるため、**SB設置を求める声を挙げにくい。** (ト協)
- ・当協会が実施したアンケートでは、**吸収用具を使用する男性 (n=38) の約7割がトイレにSBが無く困った経験がある**と答えた。 (ト協)

2. 情報収集結果 (②トイレが狭く、SB設置スペースがない。どこに設置すれば効果的?)

懸念点・気になること

- ・トイレの個室が狭く、SBを置くスペースの確保が難しい。
- ・SBはどこに設置した方がより効果的か?

参考情報

設置場所は施設によって異なっており、それぞれ、予算やスペース、利便性を考えて設置されている。

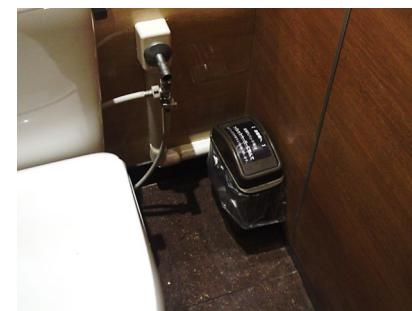
◆ SBの設置場所

- ・施設内の男性用トイレ全個室に設置 (国、地、商)
- ・利用者が多い1階～2階の男性用トイレのみに設置など、全フロアではなく一部の個室に設置 (地)
- ・多目的トイレにのみ設置 (国、地)

◆ 設置場所に関する見解

- ・個室が狭くても、洋式であれば便座の後部スペースに設置しているところもある。 (ト協)
- ・小さいものでも設置されているとありがたい。個室に設置しにくい場合は、手洗い所のスペースに大きいものを設置する方法もある。 (ト協)

(男性用トイレ個室への設置例)



2. 情報収集結果 (③サイズや機能など、どのようなものをSBとして設置すればよい?)

懸念点・気になること

- SBの材質や大きさ、蓋の開閉方法など、どのようなものをSBとして利用したらよいのか?

参考情報

◆ 材質

- 安価なプラスチック製、耐久性が高い金属製(国、地、商)
- においの心配もあるため金属製だとより安心(オ協沖)

◆ 大きさ

- 内部の検討で、おむつや尿漏れパットの廃棄に使用するため女性用SBよりも大きめの**10L程度のサイズが良いとの声があつた。**(地)
- 設置しているところを見ると**5L~10L程度が多い。**(ト協)

◆ 蓋の開閉方法

- 廃棄物を見られたくない人や人の目が気になる人もいるので**蓋つきがありがたい。**(オ協沖)
- においの面や手を触れずに蓋を開閉できること、回転式は中身が多くなった時に開けづらいことから、**足踏みペダル式を推奨する声あり。**(地)



金属製・足踏みペダル式
(縦16cm、横16cm、
高さ24cmの約6L)



プラスチック製・回転式
(直径17cm、高さ
22.5cmの約3.5L)



プラスチック製・回転式
(縦17cm、横13cm、
高さ21cmの約4L)



プラスチック製・回転式
(縦20cm、横12.5cm、
高さ25cmの約6L)

2. 情報収集結果 (④SBの設置に要する費用ってどれくらい?)

懸念点・気になること

- ・SBの購入費用はどのくらいか?
- ・現在の清掃費用に追加費用が生じるのではないか?



参考情報

◆ SBの購入費用

- ・プラスチック製・回転式の蓋・約6L…1個当たり110円～300円程度（設置当時の値段）
- ・プラスチック製・回転式の蓋・約4L…1個当たり1,000円程度
- ・金属製足踏みペダル式でも5L程度であれば1,000～2,000円程度のものあり。
- ・消耗品などの他の物品購入と同時に購入したケースや余剰物品を活用したケースあり。（国、地）

◆ 清掃の契約費用

- ・既往の清掃委託契約の中で対応できており、追加費用は生じていない。（国、地、商）
- ・清掃受託者からは、これまで女性用・多目的トイレのSBに処分が困難なごみは捨てられていないため、男性用トイレにおいても、現委託契約の中で対応できる範囲であれば追加費用は生じない見込みと回答を受けている。（地）



2. 情報収集結果 (⑤SBの案内や使用方法の掲示はしたほうがよい?)

懸念点・気になること

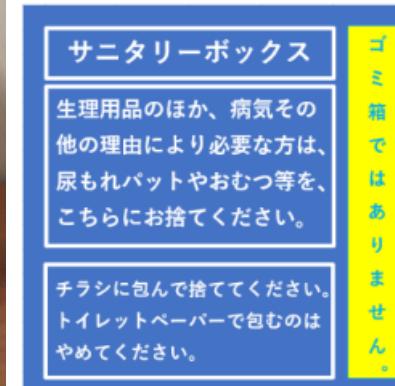
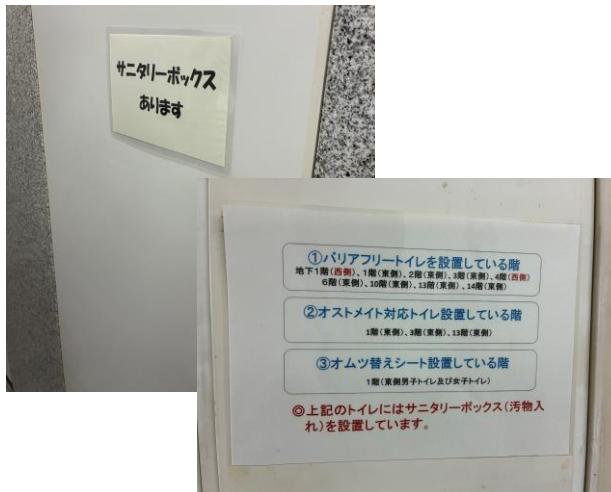
- ・SBであることを案内した方がいいのか?
- ・SBに異物(注射針など)が捨てられてしまうのではないか?

参考情報

◆ 案内掲示の必要性

- ・男性用トイレにSBは設置されていないとの認識が前提にあるため、特に全個室ではなく部分的に設置している場合は案内があるとSB設置トイレを利用しやすい。(才協沖)
- ・部分的にSBを設置している施設において、SBの設置場所を分かりやすく表示している。(地)
- ・過去にインスリン注射の針が捨てられていたことから、注射針を捨てないよう注意する掲示を行っている。日本語のほか、英語、中国語、韓国語で表記し、外国人にも分かるようにしている。掲示後は、注射針を捨てられることはなくなった。(商)

(掲示例)



3. 参考

参考情報

◆ 一般社団法人日本トイレ協会は「男性用トイレのサニタリーボックス設置に関する留意点等について」（令和7年4月）を公表
(総務省行政評価局及び他の管区行政評価局も検討に当たって協力)

- 一般社団法人日本トイレ協会（令和7年4月13日公表）

<https://j-toilet.com/2025/04/13/project20250413/>

◆ 他の管区行政評価局においても管内における状況等を情報収集し公表

- 北海道管区行政評価局（令和7年7月31日公表）

https://www.soumu.go.jp/main_content/001022853.pdf

- 中四国管区行政評価局（令和7年4月14日公表）

https://www.soumu.go.jp/main_content/001015844.pdf

- 九州管区行政評価局（令和7年6月26日公表）

https://www.soumu.go.jp/main_content/001017230.pdf